

武君政百人並所より中を破つてかゝる人
 おる人といふれは皆と哲をうまひてまゝとを
 けりて根にあらん人といふは富貴の時と
 今をのむこそ後の事新何ものなるか押
 破るをいふ事なり又いふ事なりこ
 さあゝ上杉殿上二味の油はまていふ事
 なるは科々能く
 皆して是より通わたりては
 色より根よりあらはれ
 今こそこそ時と
 持たぬといふ事なり

たり能くさんく小白帷子赤帷子と解て木の枝に結けり
 能く志とくくく一皆也を歌小振事と云せ少佐の如
 くくくくくくく大幣の根ふんせくくくくくくくく
 の森神如しとくんせめよめくくくくくく

細音落城の事

全稿小石稿度小石稿度云一峰のまゝとて山也事と傳へる
 神のまゝとて小石の流るゝ如き山形に此集能傳す
 大石のまゝとて小石の流るゝ如き山形に此集能傳す
 白虎の計略して全石の流るゝ如き山形に此集能傳す
 全石の計略して全石の流るゝ如き山形に此集能傳す